



©宮城県・旭プロダクション



# セーフティ123通信

発行：宮城県・みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会

「セーフティ123通信」は、交通安全キャンペーン「セーフティ123」の参加者を応援する情報紙です。

宮城県内を走るドライバーのみなさん！安全運転していますか？

## 事件事例から学ぶ安全運転 テーマ 「横断歩道がない交差点で」

【事故概要】横断歩道がない交差点にさしかかった際、道路を渡ろうとしている歩行者を見つけたが歩行者は、車の接近に気付いて渡るのをやめようと考え、減速等することなく、そのまま走行したところ、横断中の歩行者と衝突したものの。

### ドライバー等語録

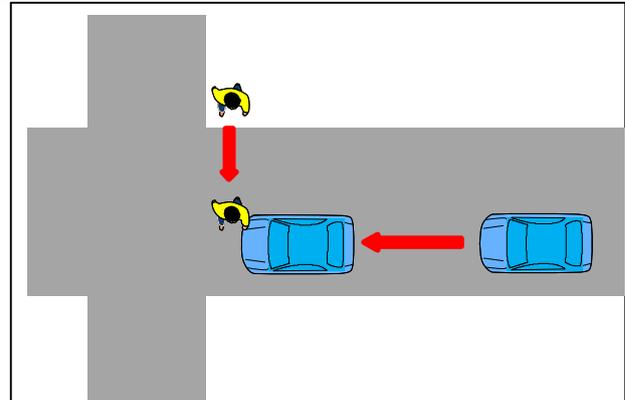
#### ○車の運転手

「何で無理に道路を渡るんだ。」

「車が近づいて来てるのは分かるだろ。危ないじゃないか！」

#### ○歩行者

「でも、交差点を横断している人がいたら、車は止まるべきじゃないの。」



## 車は「歩行者優先」、歩行者は「しっかり確認」

道路交通法では、「交差点や交差点の近くの横断歩道のない場所で、歩行者が道路を横断しているときは、車両は歩行者の通行を妨げてはならない」と規定されています。交差点の付近では、**横断歩道がある場所**はもちろん、横断歩道がない場所であっても、「**歩行者優先**」が大原則です。

また、歩行者の側方を通過するときは安全な間隔を保ち、特に子どもや高齢者、身体の不自由な方等が道路を通行しているときは一時停止又は徐行をして、その通行を妨げないようにしなければなりません。

一方、歩行者も横断する時は、左右をよく確かめるとともに、車両の直前・直後の横断はしないようにしましょう。

お互いにしっかりと確認をして交通事故に遭わないようにしましょう。



## スピードは控え目に！

危険を感じた際は、「ハンドル操作」だけで対応せず、まず、「ブレーキ」を掛けて減速しましょう。

「ブレーキ」を踏めば、減速することで危険場所までの到達時間が長くなり、時間にも気持ちにも余裕が生まれます。

当然、危険の度合いによってはハンドル操作とブレーキを併用すべき場合も考えられます。

令和8年9月1日からは、中央線などがない生活道路の法定速度が時速30キロメートルに引き下げられます。

普段からスピードは控えめにし、危険を感じてもすぐに対応できる運転を心掛けましょう。

## 第33回セーフティ123キャンペーンのお知らせ

運転免許を持っている方が3人でチームを組み、123日間、正しい交通ルールと模範運転を実践し、無事故・無違反に挑戦する、県民参加型の交通安全キャンペーン「第33回セーフティ123キャンペーン」を令和8年度も実施します。

◎ 募集期間：令和8年5月1日(金)から6月30日(火)

◎ 実施期間：令和8年7月1日(水)から10月31日(土)までの123日間

※ 参加申込み方法は、令和8年4月上旬から、県庁、県合同庁舎、市役所、町村役場、警察署などに備え置きます「応募申込パンフレット」を御覧の上、お申し込みください。皆さんの参加をお待ちしております。

## 宮城県春の交通安全県民総ぐるみ運動について

### ◎ 実施期間

令和8年4月6日(月)から4月15日(水)まで

※ 4月10日(金)は交通事故死ゼロを目指す日です。

### ◎ 運動重点

- **通学路・生活道路におけるこどもを始めとする歩行者の安全確保**  
新入学児童が通学を初めて間もない時期です。こどもを交通事故から守りましょう。
- **「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上**  
「ながらスマホ」による事故が増加しています。スマホを見ながらの運転は絶対にやめましょう。
- **自転車・特定小型原動機自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底**  
4月1日から自転車の交通違反に青切符が適用されます。  
交通ルールを守って走行しましょう。  
運動重点など詳細については、下記ホームページを御覧ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/soukou/08harukoutuuannzenn.htm>



## 後部座席でのシートベルト着用も義務です

自動車に乗ったら後部座席を含む全ての座席でシートベルトを着用しましょう。

後部座席のシートベルト着用は全ての道路で義務です。後部座席でシートベルトを着用せずに交通事故に遭った場合、以下のような危険性があります。

- **車内で全身を強打する可能性があります。**
- **車外に放り出される可能性があります。**
- **前席の人が被害を受ける可能性があります。**

宮城県の一般道路における後部座席のシートベルト着用率は全国平均を下回っています。事故時の被害を軽減するため、シートベルトを正しく着用しましょう。